



神奈川県
政策局政策部
情報公開広聴課

平成 30 年度 県民ニーズ調査

基本調査

県民の生活と県政についての意識調査

課題調査

- 「食・食育」「食の安全・安心」「スポーツ」
- 「東京 2020 大会の機運醸成に向けた取組」
- 「ともに生きる社会かながわ」「子ども・子育て支援」
- 「教育」「『未病改善』の取組」「ヘルスケア ICT の取組」
- 「肝炎対策」「アルコール依存症に対する意識」
- 「生物多様性」「神奈川県の農林水産業」
- 「環境に配慮した生活」「住宅の省エネルギー化」
- 「将来の住まい」「人権問題」「消防団の認知度」
- 「自転車損害賠償保険への加入」「地震対策の取組」
- 「治安対策」についての意識調査

平成 31 年 3 月

はじめに

神奈川県では、県民の意識・価値観などの変化や多様化する生活ニーズを的確に把握し、その結果を施策に反映することにより、県民参加の行政を一層推進するため、毎年度「県民ニーズ調査」を実施しています。

県民ニーズ調査は、県民の生活や県政についての意識を継続的に調査している「基本調査」と、時宜に応じたテーマについて調査する「課題調査」があります。本報告書は、平成30年8月から9月にかけて実施した「基本調査」及び、10月に21のテーマについて実施した「課題調査」の結果をまとめたものです。

この報告書が、行政担当者のみならず、広く県民生活の現状と将来に関心を寄せる方々にご活用いただければ幸いです。

おわりに、このたびの調査にご協力いただきました県民の皆様をはじめ、関係の方々に厚くお礼申し上げます。

平成 31 年 3 月

神奈川県政策局長

目 次

| | |
|------------|---|
| 県民ニーズ調査の概要 | 1 |
|------------|---|

基本調査

| | |
|--------------------------|-----|
| 第Ⅰ部 調査の概要 | 3 |
| 1 調査の目的 | 5 |
| 2 調査内容 | 5 |
| 3 調査設計 | 5 |
| 4 回収結果 | 5 |
| 5 標本の抽出方法について | 6 |
| 6 集計・分析にあたって | 7 |
| 7 調査結果の誤差 | 8 |
| 8 回答者の属性 | 9 |
| 第Ⅱ部 調査結果の概要 | 11 |
| 第Ⅲ部 調査結果の詳細 | 17 |
| 第1章 暮らし全般について | 19 |
| 1 生活総合満足度 | 19 |
| 2 暮らし向きの変化 | 22 |
| 3 今後の暮らし向きの見通し | 29 |
| 4 地域の住みよさ | 32 |
| 5 定住意向 | 35 |
| 第2章 生活意識 | 38 |
| 第3章 暮らしの満足度 | 73 |
| 1 生活重要度 | 73 |
| 2 生活満足度 | 80 |
| 第4章 県行政への要望 | 91 |
| 第Ⅳ部 県政への自由意見 | 95 |
| 第Ⅴ部 グラフ（暮らしの満足度、県行政への要望） | 117 |
| 生活重要度－過去との比較（図表A） | 119 |
| 生活満足度－過去との比較（図表B） | 131 |
| 県行政への要望－過去との比較（図表C） | 143 |
| 第Ⅵ部 調査票と単純集計結果 | 145 |

課題調査

| | |
|--------------------------------------|-----|
| 第Ⅰ部 調査の概要 | 159 |
| 1 調査の目的 | 161 |
| 2 調査内容 | 161 |
| 3 調査設計 | 161 |
| 4 回収結果 | 162 |
| 5 標本の抽出方法について | 162 |
| 6 集計・分析にあたって | 163 |
| 7 調査結果の誤差 | 164 |
| 8 回答者の属性 | 165 |
| 第Ⅱ部 調査結果の概要 | 167 |
| 第Ⅲ部 調査結果の詳細 | 183 |
| 第1章 食・食育 | 185 |
| 1 食育への関心 | 185 |
| 2 朝食を同居の方と食べる頻度 | 187 |
| 3 夕食を同居の方と食べる頻度 | 189 |
| 4 昼食を仲間や友人など複数人で食べる頻度 | 191 |
| 5 夕食を仲間や友人など複数人で食べる頻度 | 193 |
| 6 歯と口の健康を保つために気をつけていること | 195 |
| 7 食事のマナーを正しくできていることへの意識 | 197 |
| 第2章 食の安全・安心 | 199 |
| 1 食品を購入する際に確認している表示内容 | 199 |
| 2 食中毒を予防する上で重要なこと | 201 |
| 3 食品を安全に食べるために必要な知識 | 203 |
| 第3章 スポーツ | 205 |
| 1 1年間のスポーツ実施日数 | 205 |
| 2 「かながわパラスポーツ」の認知度 | 207 |
| 3 ラグビーワールドカップが横浜市で開催されることの認知度 | 209 |
| 4 横浜市で開催されるラグビーワールドカップの観戦意向 | 211 |
| 第4章 東京2020大会の機運醸成に向けた取組 | 213 |
| 1 セーリング競技への興味・関心 | 213 |
| 2 セーリング競技の観戦意向 | 215 |
| 3 東京2020大会やセーリング競技に関するイベントへの参加意向 | 217 |
| 4 東京2020大会に参加する海外選手との交流事業・イベントへの参加意向 | 219 |
| 第5章 とともに生きる社会かながわ | 221 |
| 1 とともに生きる社会かながわ憲章の認知度 | 221 |

| | | |
|------|----------------------------------|-----|
| 2 | ともに生きる社会かながわ推進週間の認知度 | 223 |
| 3 | ともに生きる社会かながわ推進週間を知った広報の方法 | 225 |
| 4 | 身近で障がい者と接する機会 | 227 |
| 5 | 障がい者への差別・偏見の有無 | 229 |
| 6 | 障がい者に配慮した行動をとる人 | 231 |
| 7 | 希望する手話の学習方法 | 233 |
| 第6章 | 子ども・子育て支援 | 235 |
| 1 | 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(重要度) | 235 |
| 2 | 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(満足度) | 243 |
| 第7章 | 教育 | 251 |
| 1 | 最近の子どもについて | 251 |
| 2 | 教育に関する取組の満足度 | 258 |
| 3 | 子どもたちが身に付けるべき力 | 264 |
| 4 | 教育や学習の環境整備として必要だと思うもの | 266 |
| 第8章 | 「未病改善」の取組 | 268 |
| 1 | 「未病(ME-BYO)」の認知度 | 268 |
| 2 | 「未病(ME-BYO)」の意味の認知度 | 270 |
| 3 | 「未病改善」の取組の実践 | 272 |
| 4 | 「未病改善」の取組に必要だと思うもの | 274 |
| 第9章 | ヘルスケアICTの取組 | 276 |
| 1 | 健康情報が記録・管理できるアプリケーションの利用について | 276 |
| 2 | 見える化・データ化してほしい健康情報 | 278 |
| 3 | 健康の維持・改善に向けたサービス | 280 |
| 第10章 | 肝炎対策 | 282 |
| 1 | ウイルス性肝炎の認知度 | 282 |
| 2 | 「肝炎ウイルス検査」の受診状況 | 284 |
| 3 | 「肝炎ウイルス検査」を受診しない理由 | 286 |
| 第11章 | アルコール依存症に対する意識 | 288 |
| 1 | 適度な飲酒量 | 288 |
| 2 | アルコールについて知っているもの | 290 |
| 3 | アルコール依存症について知っているもの | 292 |
| 4 | アルコール依存症に関する相談場所として知っているもの | 294 |
| 5 | アルコール依存症についての相談希望 | 296 |
| 第12章 | 生物多様性 | 298 |
| 1 | 「生物多様性」の言葉の意味の認知度 | 298 |
| 2 | 神奈川県における生物多様性の保全の取組で重要なもの | 300 |
| 3 | 生物多様性を知る、または行動する機会として、参加したいと思う取組 | 302 |
| 第13章 | 神奈川県の農林水産業 | 304 |

| | | |
|------|-------------------------------|-----|
| 1 | 「地産地消」の取組の重要度 | 304 |
| 2 | 「かながわブランド」の言葉の認知度 | 306 |
| 3 | 神奈川県農業に期待する役割 | 308 |
| 第14章 | 環境に配慮した生活 | 310 |
| 1 | 再生可能エネルギーを利用した電力の購入希望 | 310 |
| 2 | 環境問題の情報収集の有無 | 312 |
| 3 | 企業等が持つ技術力の環境問題解決への貢献 | 314 |
| 第15章 | 住宅の省エネルギー化 | 316 |
| 1 | 省エネルギー性能の高い住宅のメリットについて知っていること | 316 |
| 2 | 「省エネリフォーム」への関心 | 318 |
| 3 | 省エネリフォームを行う場合に期待する効果 | 320 |
| 4 | 省エネリフォームに関心を持たない理由 | 322 |
| 5 | 省エネ住宅を普及させるために期待する県からの支援 | 324 |
| 第16章 | 将来の住まい | 326 |
| 1 | 将来の住まいに対する不安 | 326 |
| 2 | 将来の住まいに不安を抱く理由 | 328 |
| 3 | シェアハウスに対する考え | 330 |
| 4 | シェアハウスに住んでみたい理由 | 332 |
| 5 | シェアハウスに住みたくない理由 | 334 |
| 第17章 | 人権問題 | 336 |
| 1 | 今の日本社会に対する意識 | 336 |
| 2 | インターネットでの人権侵害を防ぐための取組 | 338 |
| 3 | 県内の同和地区や同和地区出身者に対する差別への意識 | 340 |
| 4 | 自分の子どもと同和地区出身者の結婚への意識 | 342 |
| 第18章 | 消防団の認知度 | 344 |
| 1 | 消防団の認知度 | 344 |
| 2 | 消防団への入団意向 | 346 |
| 3 | 消防団の活動や消防団員の待遇で魅力を感じる | 348 |
| 第19章 | 自転車損害賠償保険への加入 | 350 |
| 1 | 自転車の利用状況 | 350 |
| 2 | 自転車損害賠償保険への加入の有無 | 352 |
| 3 | 自転車損害賠償保険に加入することについての考え | 354 |
| 第20章 | 地震対策の取組 | 356 |
| 1 | 大きな地震に備えた対策 | 356 |
| 2 | 海岸で地震による強い揺れを感じたときの行動 | 358 |
| 3 | 津波に関する知識 | 360 |
| 第21章 | 治安対策 | 367 |
| 1 | 不安を感じる犯罪 | 367 |

| | | |
|-----|------------------------------|-----|
| 2 | 身近な治安に関して最も安心感を抱くとき ----- | 369 |
| 3 | 安心して暮らすために最も重要だと思うもの ----- | 371 |
| 4 | 犯罪発生情報や防犯に役立つ情報を得やすい方法 ----- | 373 |
| | | |
| 第Ⅳ部 | 調査テーマへの自由意見 ----- | 375 |
| 第Ⅴ部 | 調査票と単純集計結果 ----- | 383 |

県民ニーズ調査の概要

1 調査の目的

県民の意識・価値観などの変化や多様化する生活ニーズを的確に把握し、その結果を県の施策に反映するために意識調査を行う。併せて、調査を通じ、県民の県政に対する理解と関心を深める。

2 調査内容

県民の生活や意識の変化等を把握するための「基本調査」を継続して実施した。また、県政の直面する重要課題や県民生活に関する中・長期的な課題をテーマに「課題調査」を実施した。

(1) 基本調査

- ア くらし全般
- イ 生活意識
- ウ くらしの満足度
- エ 県行政への要望

(2) 課題調査

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| ア 食・食育 | シ 生物多様性 |
| イ 食の安全・安心 | ス 神奈川県 of 農林水産業 |
| ウ スポーツ | セ 環境に配慮した取組 |
| エ 東京 2020 大会の機運醸成に向けた取組 | ソ 住宅の省エネルギー化 |
| オ ともに生きる社会かながわ | タ 将来の住まい |
| カ 子ども・子育て支援 | チ 人権問題 |
| キ 教育 | ツ 消防団の認知度 |
| ク 「未病改善」の取組 | テ 自転車損害賠償保険への加入 |
| ケ ヘルケア ICT の取組 | ト 地震対策の取組 |
| コ 肝炎対策 | ナ 治安対策 |
| サ アルコール依存症に対する意識 | |

3 調査設計

- | | |
|------------|-------------------------------|
| (1) 調査地域 | 神奈川県全域 |
| (2) 調査対象 | 県内在住の満 18 歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 「基本調査」3,000 標本、「課題調査」3,000 標本 |
| (4) 標本抽出方法 | 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出 |
| (5) 調査回数 | 「基本調査」1 回、「課題調査」1 回 |
| (6) 調査時期 | 「基本調査」8～9 月、「課題調査」10 月 |

4 調査方法

- (1) 郵送による調査票の配布
- (2) 郵送回答とインターネット回答の併用

